

令和4年度第2回京丹波町自主放送番組審議会 会議録

日 時 令和5年2月21日(火)
午後5時～午後7時
場 所 京丹波町情報センター会議室

- 1 開 会
(欠席 2人)
(傍聴 関西大学社会安全学部 インターン生の皆さん)

会長あいさつ

新型コロナウイルスが猛威を振るい日本では2020年初頭から社会活動が止まり、大きく社会が変化し、大きく変わりました。東京オリンピックではまだまだコロナ禍で制限はありましたが、カタールのサッカーワールドカップは、皆さんマスクをしてない環境で、アフターコロナの到来をまざまざと実感しました。最近では私達の生活でアフターコロナを実感し、ようやく時間が動き出したと感じています。

この中、ケーブルテレビが民営化し、大きく環境が変わったところです。旧瑞穂町時代からケーブルテレビがスタートして京丹波町に合併して大きく変革したところですが、今回3回目の大きな飛躍に向けて、改めてこの審議会に置かれている立場の重大さに気づかされているところです。本日は、答申へ向けてしっかりと皆様と話をしたいと思っています。

- 2 京丹波町自主放送番組基準及び基本計画の制定についての答申へ向けて

事務局説明

- ・委員
書類に書いてあることは難しかったが、説明いただくことでよく理解できた。
- ・オブザーバー
前回の意見がまとめられていたためわかりやすかった。
- ・委員
前回の意見がしっかりと反映されていてよかった。
- ・委員
24時以降の放送は、簡単なことではないとは思いますが、計画に形として入れさせてくださっている。
- ・委員
番組放送の時間の変更等は、いつから反映されるか。
- ・事務局
計画で放送時間を明記していないので、事務局の采配で、時間を変更できるが、熟考が必要。
- ・会長
事務局から提示いただいた基準及び計画で答申することで、よろしいですか？

- ・委員全員 異議なし

- ・企画情報課長
番組放送基準、及び計画については、誤字脱字等再点検して、誤り等があれば、反映します。

3 京丹波町自主放送番組の状況について

事務局説明

- ・委員
コロナ禍で、番組制作で苦勞された点はありますか？
- ・事務局
新型コロナウイルス感染症が流行りだしたころ、様々な行事やイベントが中止になった。須知高校や関西大学社会安全学部と、様々な番組制作の企画を立てていたが、すべてゼロになってしまい、番組制作を続けられるのか、危機に陥りそうになった。そんな中、町長メッセージや、町からのお知らせ、警察からの詐欺被害防止の啓発、小中学生向けの授業、町政懇談会、議会報告会、社会を明るくする運動など、様々なイベントができない中、自主放送番組を活用して情報を発信するという動きが活発化し、京丹波ウィークリーの放送時間が1時間を超えたことがあった。活用いただくのはありがたいが、特別番組等多くの番組を制作したので、制作する側の技術に限界を感じる時もあった。
- ・委員
コロナ禍で、集まる機会やイベントがなくなって、保育所、幼稚園、小中高の運動会にも見に行けない状態になって、自主放送の番組は非常に大事なことであると感じた。子どもたちの成長もわかり、見ていただくことで交流になり、とても大切である。町民の皆さんが映る番組は、ほかの局のテレビにはない、地元が映る、地元のための番組になっていた。これからも頑張してほしい。
- ・会長
中学校の特集なども組んでいただいて、とてもありがたく、行事等には、いつも取材に来てくれていて、助かっている。
気になる点があり、過去の映像等はとても楽しいが、問題等があった場合やチェック機能等はどうなっているのか？
- ・事務局
成人式等の特別番組では、過去の映像を放送しているが、細部にまでチェックして疑問に引っかかる映像（映っている子の名字が変わっている、等）、放送することで不具合等が生じそうな映像は、カットしている。どこが具合悪いか、定まった基準等はないが、長年の勘で、カットするようにしている。万が一、放送に出てしまった場合は、即座にカットして再編集かけていることもある。なるべく、事前にチェックを行い、視聴者が不快に思われないように配慮している。
- ・オブザーバー
二十歳の集いの火の用心CMで、「寝たばこはしません」というコメントがありました。二十歳になったのでOKだとは思いますが、最近のSNSなどの投稿にもありますが、発言、発信するときは、気を付けなければならないと思います。歴史あるケーブルテレビであるからこそ、また地域に根ざしたテレビであるからこそできることであると思います。町民の皆さんの活動や活躍が映像で残ることがすごいことだと思います。これからも続けてほしいです。
- ・事務局
番組で放送する中で、葛藤があります。例えば、亡くなられた方を放送していいのか。

以前であれば、亡くなられた方の了承等がとれないので、一切放送していませんでした。しかし、生前の元気なお姿を見ることができてうれしいという声もあります。放送した番組が、お葬式で放映されたという話も聞いています。

ただ、撮影するときに、放送していいのか悪いのか、ネガティブな事ばかり考えてしまうと、カメラが回せなくなることがあります。悪いことを放映するわけではないので、取材の許可等が出たら、なるべく近くによって、よい表情をたくさん撮影して、皆さんに親しんでいただける放送ができるように努力しています。

・会長

伝えた情報が炎上することもあり、情報発信の仕方が難しい時代になっています。たくさん量の取材をされていますが、取材してほしいという要望があれば、どうされていますか？

・事務局

なるべく取材にいかせていただけるようにしていますが、直前（1日前、数時間前）になって、取材に来れないか、依頼がある場合があります。その場合は、ほかの予定等もあるのでお断りすることが多いです。できたら、1週間、2週間前に、取材の依頼があれば非常にありがたいです。

・オブザーバー

コロナ禍が過ぎつつあり、須知高校でも体育祭や文化祭ができるようになりました。生徒会としても情報発信をしていきたいと思っています。

・事務局

情報提供、よろしくお願ひします。須知高校の皆さんとやってみたい企画もありますので、ぜひよろしくお願ひいたします。

・委員

これだけのことを考えながら、この人数でやるということは、本当大変だろうと感じています。放送番組で感じたことを言いますが、議会放送で、静止画で放送されることがありました。冬の時期に夏服で答弁されている方がありました。季節感が異なると感じました。また、文字放送で、オレンジにイエローの文字が出ている場面があり見にくかったです。

・事務局

議会の一般質問では、12月議会で、録画機器のトラブルにより、映像が収録できない事態がありました。その際、静止画と音声で緊急的に編集をして放映したのですが、答弁が少ない課長があり、どうしても夏服のシーンしかありませんでした。申し訳ございません。

文字放送のテロップの色は、組み合わせが非常に難しく、ひと画面を作るのに、1時間以上かかる場合があります。今後も研究を重ねながら、見やすい画面にしていきたいと思ひます。

・会長

京丹波町自主放送番組に関して、いろいろお声をいただくようになりました。番組に対する批判もあり、お叱りもある中で、番組に対する興味関心が高いことがうかがえます。今回の答申をリスタートにして、京丹波ウィークリーのオープニングをリニューアルすることや、スタジオセットなども変えてみてはいかがでしょうか？

・事務局

京丹波ウィークリーのオープニングなどは変更を含めて前向きに検討したいと考えております。

・副会長

前回、いただいたアンケートを読み返していましたが、火の用心CMに出たくない、シャイな人が多いことが分かった。でも、番組に出てもらわないと始まらないので、まずは火の用心から、楽しく番組に出てほしいと思ひます。

- ・事務局

火の用心CMですが、撮影をお願いしても、半分くらいは、断られることが多いです。撮影する側とされる側の関係性の問題もありますので、なるべく出演いただけるよう、撮影の仕方を工夫して努力したいと思います。

- ・委員

ライターをしており、社会福祉協議会等の福祉関係の記事を書くことがあり、行政関係のお知らせは非常に難しいと、感じています。消防団の特集番組は非常に見ごたえがありました。運動会など、子どもが映っていると、親や地域の人が見えています。今後も、取材等、どんどん踏み込んでいただいて、良い番組を作っていただきたい。楽しみにしています。ぜひ、続けてほしいです。

- ・事務局

消防団の特集は、取材、編集等、半年ほどかかりました。ドキュメンタリーなので、はじめからシナリオを用意して制作するのではなく、現場の様子やインタビューなどを勘案して、構成しました。団員の皆さんの本音、熱い想いをいかに映像化して、町民の皆さんに伝えるか、苦慮しました。放送できてよかったですし、今後も、様々な番組が制作できるよう、努力したいと思います。

- ・委員

なんでも、二項対立で考えてしまうことが多く、物事を決めつけてしまいがちです。番組は晴れの舞台で、町民の皆さんが勇気づけられます。また、文化祭なども特集で放送いただいて本当にありがたいです。文化祭の舞台裏なども番組にされてみてはいかがでしょうか。

- ・事務局

二項対立、住民、行政の対立など、その対立に挟まることが怖いことだと思っています。番組は二項対立の間にあるメディアです。その役割をしっかりと考えて情報発信していきたいです。以前、須知高校の文化祭の取組の舞台裏を紹介したことがありました。当たり前の日常を描くことは難しいですが、宝物の宝庫だと感じています。

4 関西大学社会安全学部との番組制作について（報告）

関西大学社会安全学部 オブザーバーからの報告

（会議を傍聴された関西大学社会安全学部インターン生からの意見）

- ・安心ほっとステーションなどの番組制作をさせていただきましたが、一つの番組を作り上げるのに、企画、原稿、撮影、本当に大変でした。スタッフの皆さんの番組制作への熱意がすごかったです。

- ・オブザーバー

東日本大震災の被害に遭われた友好町福島県双葉町についての番組は、本当に大変だと思います。しかし、伝えてもらわないと、知ることができないので、本当に大変だと思いますが、これらも伝えてほしいです。頑張ってください。

5 意見交換

京都広報賞知事賞受賞報告（事務局）

6 閉 会

副会長 閉会あいさつ

たくさんのご意見をいただきましたどうもありがとうございました。
どうもありがとうございました。